

人文社会科学部 法学専攻(博士前期課程)

専門科目

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DH402	憲法総合演習IIa	1.5	1・2	春ABC	月3		辻 雄一郎		
01DH403	憲法総合演習IIb	1.5	1・2	秋ABC	月3		辻 雄一郎		
01DH430	民法基本演習I	4.0	1・2					民法に関する基本問題について検討する。進行としては、年度当初に大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備したうえで、夏休み及び冬休みに集中的に検討を行うこととする。	2014年度開講せず。
01DH431	民法基本演習II	4.0	1・2	通年	集中		星野 豊	民法に関する問題について検討する。進行としては、年度当初に大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備したうえで、夏休み及び冬休みに集中的に検討を行うこととする。	1/1-1/4, 8/14-8/17
01DH440	民法演習Ia	1.5	1・2					民法の諸概念について、基礎法学の視点から基本的な検討を行う。	2014年度開講せず。
01DH441	民法演習Ib	1.5	1・2					民法の諸概念について、基礎法学の視点から発展的な検討を行う。	2014年度開講せず。
01DH442	民法演習IIa	1.5	1・2	春ABC	木4		宮坂 渉	民法の諸概念について、基礎法学の視点から発展的な検討を行う。	
01DH443	民法演習IIb	1.5	1・2	秋ABC	木4		宮坂 渉	民法の諸概念について、基礎法学の視点から基本的な検討を行う。	
01DH450	家族・社会法演習Ia	1.5	1・2					家族法と社会保障法との接点的諸問題を題材に、家族と家族を取り巻く社会との関係性について、法学的見地から分析・検討を行う。学生各自が研究したいと思っているテーマを選択し、各自の報告を中心に参加者全員で意見交換をしながら知識を深めることを目指す。	2014年度開講せず。
01DH451	家族・社会法演習Ib	1.5	1・2					家族法と社会保障法との接点的諸問題を題材に、家族と家族を取り巻く社会との関係性について、法学的見地から分析・検討を行う。家族法または社会保障関係諸法の中から学生各自が研究テーマを絞り込むために必要な文献を指定し、各自の報告内容を中心に参加者全員で意見交換をしながら、研究テーマに関する理解を深めることを目指す。	2014年度開講せず。
01DH452	家族・社会法演習IIa	1.5	1・2	春ABC	月4		本澤 巳代子	家族法と社会保障法との接点的諸問題を題材に、家族と家族を取り巻く社会との関係性について、法学的見地から分析・検討を行う。家族法または社会保障関係諸法の中から学生各自が研究テーマを絞り込むために必要な文献を指定し、各自の報告内容を中心に参加者全員で意見交換をしながら、研究テーマに関する理解を深めることを目指す。	
01DH453	家族・社会法演習IIb	1.5	1・2	秋ABC	月4		本澤 巳代子	家族法と社会保障法との接点的諸問題を題材に、家族と家族を取り巻く社会との関係性について、法学的見地から分析・検討を行う。家族法または社会保障関係諸法の中から学生各自が研究テーマを絞り込むために必要な文献を指定し、各自の報告内容を中心に参加者全員で意見交換をしながら、研究テーマに関する理解を深めることを目指す。	
01DH460	民事訴訟法演習Ia	1.5	1・2					民事訴訟法に関する諸問題を様々な観点から総合的に検討する。	2014年度開講せず。
01DH461	民事訴訟法演習Ib	1.5	1・2					民事訴訟法に関する諸問題を最新の判例分析を通して総合的に検討する。	2014年度開講せず。
01DH462	民事訴訟法演習IIa	1.5	1・2	春C	集中		村上 正子	民事訴訟法の諸問題を総合的に検討する。	7/3-7/6
01DH463	民事訴訟法演習IIb	1.5	1・2	秋C	集中		村上 正子	民事訴訟法の諸問題を最新判例を通して総合的に検討する。	1/27-1/30
01DH470	刑法演習Ia	1.5	1・2					前期課程の学生を対象に、刑法総論、刑法各論および犯罪学について、講義と報告とを織り交ぜながら、全体について解説する。刑法演習Ibへ続く。	2014年度開講せず。
01DH471	刑法演習Ib	1.5	1・2					前期課程の学生を対象に、刑法総論、刑法各論および犯罪学について、講義と報告とを織り交ぜながら、全体について解説する。刑法演習Iaからの続きなので、これを併せて登録すること。	2014年度開講せず。
01DH472	刑法演習IIa	1.5	1・2	春ABC	火1		岡上 雅美	前期課程の学生を対象に、刑法総論、刑法各論および犯罪学について、講義と報告とを織り交ぜながら、全体について解説する。刑法演習IIbへ続く。	
01DH473	刑法演習IIb	1.5	1・2	秋ABC	火1		岡上 雅美	前期課程の学生を対象に、刑法総論、刑法各論および犯罪学について、講義と報告とを織り交ぜながら、全体について解説する。刑法演習IIaからの続きで、これを併せて登録すること。	
01DH480	刑事訴訟法演習Ia	1.5	1・2					刑事訴訟法における重要な論点について検討する。	2014年度開講せず。
01DH481	刑事訴訟法演習Ib	1.5	1・2					刑事訴訟法における重要な論点について検討する。	2014年度開講せず。
01DH482	刑事訴訟法演習IIa	1.5	1・2	春ABC	水3		守田 智保子	刑事訴訟法における重要な論点について検討する。	
01DH483	刑事訴訟法演習IIb	1.5	1・2	秋ABC	水3		守田 智保子	刑事訴訟法における重要な論点について検討する。	
01DH490	裁判実務演習Ia	1.5	1・2					実際の紛争事例を基に、当事者の生の主張をどのように訴状にまとめたらいかがを検討してもらおうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらおうことを目標とする。	2014年度開講せず。

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DH491	裁判実務演習Ib	1.5	1・2					実際の紛争事例を基に、当事者の生の主張をどのように訴状にまとめたらよいかを検討してもらうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらうことを目標とする。	2014年度開講せず。
01DH492	裁判実務演習IIa	1.5	1・2	春ABC	集中		根本 信義	実際の紛争事例をもとに、当事者の生の主張をどのように訴状にまとめたらよいかを検討してもらうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらうことを目標とする。	
01DH493	裁判実務演習IIb	1.5	1・2	秋ABC	集中		根本 信義	実際の紛争事例をもとに、当事者の生の主張をどのように訴状にまとめたらよいかを検討してもらうことを通じて、裁判実務でとられている要件事実の考え方を理解してもらうことを目標とする。	

基礎法律科目

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DH602	比較憲法IIa	1.5	1・2	秋ABC	月4		辻 雄一郎		
01DH603	比較憲法IIb	1.5	1・2	秋ABC	月4		辻 雄一郎		
01DH630	民法概論I	4.0	1・2					民法の理論的側面全般について検討する。進行としては、年度当初に大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備したうえで、夏休み及び冬休みに集中的に検討を行うこととする。	2014年度開講せず。
01DH631	民法概論II	4.0	1・2	通年	集中		星野 豊	民法の理論的側面全般について検討する。進行としては、年度当初に大部な資料を配布し、十分な時間をかけて読了・準備したうえで、秋以降に集中的に検討を行うこととする。	12/28-12/31、8/10-8/13
01DH642	民法基礎理論IIa	1.5	1・2	春ABC	金3		宮坂 渉	民法の諸概念にかんする基本的な外国語文献を購読する。	
01DH643	民法基礎理論IIb	1.5	1・2	秋ABC	金3		宮坂 渉	民法の諸概念にかんする発展的な外国語文献を購読する。	
01DH650	家族・社会関係論Ia	1.5	1・2					事実婚、同性婚、離婚給付、離婚後の子の親権・監護権・養育費、子の虐待、高齢者介護と扶養、認知症高齢者と成年後見制度など今日的テーマを選んで、家族法と社会福祉法の観点から総合的に検討する。学生各自が関心のあるテーマを選択して報告を行い、その報告をもとに参加者全員で意見交換をしながら、家族法および社会福祉法に関する理解を深める。	2014年度開講せず。
01DH651	家族・社会関係論Ib	1.5	1・2					事実婚、同性婚、離婚給付、離婚後の子の親権・監護権・養育費、子の虐待、高齢者介護と扶養、認知症高齢者と成年後見制度など今日的テーマを選んで、家族法と社会福祉法の観点から総合的に検討する。春学期に引き続き、学生各自が関心のあるテーマを選択して報告を行い、その報告をもとに参加者全員で意見交換をしながら、家族法および社会福祉法に関する理解を深める。	2014年度開講せず。
01DH652	家族・社会関係論IIa	1.5	1・2	春ABC	月3		本澤 巳代子	事実婚、同性婚、離婚給付、離婚後の子の親権・監護権・養育費、子の虐待、高齢者介護と扶養、認知症高齢者と成年後見制度など今日的テーマを選んで、家族法と社会福祉法の観点から総合的に検討する。学生各自が関心のあるテーマを選択して報告を行い、その報告をもとに参加者全員で意見交換をしながら、家族法および社会福祉法に関する理解を深める。	
01DH653	家族・社会関係論IIb	1.5	1・2	秋ABC	月3		本澤 巳代子	事実婚、同性婚、離婚給付、離婚後の子の親権・監護権・養育費、子の虐待、高齢者介護と扶養、認知症高齢者と成年後見制度など今日的テーマを選んで、家族法と社会福祉法の観点から総合的に検討する。学生各自が関心のあるテーマを選択して報告を行い、その報告をもとに参加者全員で意見交換をしながら、家族法および社会福祉法に関する理解を深める。	
01DH660	民事訴訟法基礎理論Ia	1.5	1・2					民事裁判制度等についての英語の文献を講読する。	2014年度開講せず。
01DH661	民事訴訟法基礎理論Ib	1.5	1・2					民事裁判等についての英語の文献を講読する。	2014年度開講せず。
01DH662	民事訴訟法基礎理論IIa	1.5	1・2	春C	集中		村上 正子	民事裁判制度等についての英語の文献を講読する。	7/24-7/27
01DH663	民事訴訟法基礎理論IIb	1.5	1・2	春季休業中	集中		村上 正子	民事裁判等についての英語の文献を講読する。	1/20-1/23
01DH670	民事裁判実務概論Ia	1.5	1・2					民事訴訟の基本概念をふまえた上で、裁判実務でとられている要件事実の考え方を、民法を素材として検討する。	2014年度開講せず。
01DH671	民事裁判実務概論Ib	1.5	1・2					民事訴訟の基本概念をふまえた上で、裁判実務でとられている要件事実の考え方を、民法を素材として検討する。	2014年度開講せず。
01DH672	民事裁判実務概論IIa	1.5	1・2	春ABC	集中		根本 信義	民事訴訟の基本概念を踏まえた上で、裁判実務でとられている要件事実の考え方を民法を素材として検討する。	
01DH673	民事裁判実務概論IIb	1.5	1・2	秋ABC	集中		根本 信義		
01DH680	刑法基礎理論Ia	1.5	1・2					前期課程の学生を対象に、刑法の基礎および犯罪学について、全般的に解説する。刑法基礎理論Ibへと続く。	2014年度開講せず。

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DH681	刑法基礎理論Ib	1.5	1・2					前期課程の学生を対象に、刑法の基礎および犯罪学について、一般的に解説する。刑法基礎理論Iaからの続きなので、併せて登録すること。	2014年度開講せず。
01DH682	刑法基礎理論IIa	1.5	1・2	春ABC	月2		岡上 雅美	前期課程の学生を対象に、刑法の基礎および犯罪学について、一般的に解説する。刑法基礎理論IIbへと続く。	
01DH683	刑法基礎理論IIb	1.5	1・2	秋ABC	月2		岡上 雅美	刑法の基礎および犯罪学について、一般的に解説する。刑法基礎理論IIaからの続きなので、併せて登録すること。	
01DH690	刑事訴訟法Ia	1.5	1・2					刑事訴訟法に関する重要判例の検討を行う。	2014年度開講せず。
01DH691	刑事訴訟法Ib	1.5	1・2					刑事訴訟法に関する重要判例の検討を行う。	2014年度開講せず。
01DH692	刑事訴訟法IIa	1.5	1・2	春ABC	水4		守田 智保子	刑事訴訟法に関する重要判例の検討を行う。	
01DH693	刑事訴訟法IIb	1.5	1・2	秋ABC	水4		守田 智保子	刑事訴訟法に関する重要判例の検討を行う。	

応用法律科目

科目番号	科目名	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DH314	国際法	2.0	1・2	春AB	月1,2	3K325	吉田 脩	国際法と国家の一般理論に係る諸問題を取り上げる。テキストとして、Hans Kelsen, General Theory of Law and State (1946)その他欧語論文等を扱う。	西暦偶数年度開講。01DF422と同一。
01DH327	知的財産の管理と利用	2.0	1・2	春AB	火5,6	7A204	松縄 正登, 村井 麻衣子	知的財産の適切な管理と利用について理解するため、特許、著作権を中心とする知的財産の基礎的事項を概観したうえで、知的財産に係る具体的事例や法的課題などについて論究する。必要により履修者による関連裁判例・論文等の発表を行う。	01MB104と同一。
01DH332	インターネットと法	2.0	1・2	秋AB	火5,6	7A206	石井 夏生利	ネットワーク社会における新たな法的問題について一緒に考えていきます。インターネットが不可欠のインフラとなった現代社会では、プライバシー・個人情報保護、情報公開、著作権や不正競争行為などの知的財産権の侵害、架空請求などの消費者被害、不正アクセスなどのサイバー犯罪、インターネット上の権利侵害とプロバイダの責任、アダルトサイトなどの違法・有害コンテンツ等、様々な課題が存在します。これらの問題は情報セキュリティとも関連します。最近では、ライフログやクラウドコンピューティングにも注目が集まっています。そこで、ネットワークを利用するにあたって現実に直面することが多い問題を取り上げながら、皆さんにも発表してもらい、インターネット問題に対する法的対応を検討します。	01MB103と同一。
01DH352	経済法	3.0	1・2	春AB 春C	土6,7 木7,8	BNK320 BNK117	山田 務	独占禁止法は、市場経済における競争秩序を維持する法制として重要な地位を占めている。審決・判例等を参照しながら、また、公取委のガイドラインにもふれながら、重点的にポイントを講述する。	01LA509, 01LA510と一部共通。
01DH368	労働関係法	3.0	1・2	春ABC	火7,8	BNK117	川田 琢之	労働契約法、労働基準法、労働組合法等によって構成される労働法の基本的な内容について講義する。	01LA512と同一。
01DH382	国際私法	2.0	1・2	春AB	火7,8	BNK119	藤澤 尚江	国際私法は、国際的な法律関係において生じる異なる法律の抵触という問題に解決を与えようとするものである。この講義では、国際私法の制度と、特に取引法におけるその実現について概説する。	01LA301と同一。
01DH397	租税法	3.0	1・2	通年	水7	BNK119	本田 光宏	実務上の観点から、企業にとって重要な租税法の解釈・適用を体系的に論じる。具体的には、租税法の基本原則、解釈・適用の原則等租税法総論の基本事項を論じ、実税法については、法人税法の解釈上重要な論点を中心に講義する。また、重要判決等の時事問題も随時取り上げる。	01LA221と同一。